

A	B	C	D			
1			＜様式11-1＞			
2	令和7（2025）年度		学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書			
3			松ヶ崎児童館			
4	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題			
5						
6						
7				出欠確認・子どもたちの行動状況の把握	うつぶさくらで出欠を確認し、連絡なしに欠席した児童の保護者に確認をとる。登館時間などが、保護者からの課外申請と異なる児童に対して事情を聞き保護者に連絡確認することで、児童の行動や安全を把握することができた。	
8				学校への1年生のお迎え	登館経路の確認や交通安全の指導をするとともに、会話を通して子どもたちの様子を知ることができた。入学式後の数週間は、小学校までお迎えに行き、その後は徐々に、迎えに行く距離を短くしていく。	
9				学校からの集団登館指導	1年生に関しては、登館時歩くのが早い子と遅い子に別れて歩いていることがあったが、お迎え時に声かけを行い、年度末にはまとまって登館出来るようになってきた。2年生以上はクラスで終業時間の違いがあるため、クラスごとにまとまって登館するよう指導している。	
10				安全・衛生の確保	集団下館・交通安全指導	年度始めには、職員が付き添い、それぞれのコースの子どもたちに経路・交通ルールの指導をすることや、各児童の住んでいる場所や位置関係、雰囲気を知ることができた。また、方面ごとに集団下館をすることで、家の近くまで複数で帰ることができた。しかし、慣れるにつれて、児童館を出てすぐにばらばらになってしまったり、寄り道をしているとの報告も受けた。また、保護者から、違うコースで帰っているとの報告もあった。下館については、全体や個別に話をしたが、今後も注意深くみていく必要がある。地域に新しく橋ができたため、前年度に引き続き、集団帰り時に職員が送っていくようにする。
11				生活援助機能	手洗い・うがい・手指消毒指導	おやつ前の手洗い・手指消毒は実施できている。それ以外の場面でのうがいや手洗いは習慣づいておらず、今後も声掛け等の指導を行う必要がある。
12					あそびのルールや後片付けの徹底	年度始めはきちんとルールを守り遊んでいたが、慣れてきた頃になるとルールを忘れてしまったり、守れなかったりする姿もあった。お迎えに来られてもすぐに用意が出来ない児童がいた為、5時以降の過ごし方についても再度職員間でルールを確認し、子どもたちに伝えるとともに声かけも徹底した。片付けについては、遊びによっては5分早く声かけをする等配慮を行った。ルールについては子どもたちにわかりやすいように掲示し、視覚的にルールを意識できるようにした。
13				健康の管理・情緒の安定	アレルギー対策	アレルギー表を作成し、誰が何のアレルギーを持っているかを管理・把握し、必要に応じておやつを交換した。重度の子に対しては保護者と相談の上、おやつの提供や周りの子どもたちへの声かけなども注意して行った。エピペン持参のため取り扱いや保管についても全職員で共有した。
14					おやつの提供	学年ごとに分けておやつの時間を設け、基本的には食べ残しがないよう声かけをし、無理してまで食べることがないように伝え、同時にマナーや行儀について指導した。また、アレルギー対策を徹底し、誤飲防止に努めた。
15				基本的生活習慣の確立	学習時間	学校休業中（夏・冬・春休み）は毎日45分に設定し学習に取り組んだ。決められた時間内に集中して取り組むことができ、遊びの時間とのメリハリをつけることができた。
16					あいさつの励行	1年生に関しては、自らあいさつをしてくれる姿が多かったが、高学年は、恥ずかしさもあるのか、あいさつする姿が少なかった。今後も、自主的にあいさつができるようにこちらからのあいさつを繰り返ししていく必要がある。
17				社会生活技術の獲得	熱中症対策等	学童クラブを修了後の生活も視野に入れ、定期的な水分補給等の習慣づけを行った。
18					3年生会議	毎月の目標を月始めに考え、目標達成に向け帰りの会等で成果を聞いた。
19				生活体験の拡大	入会式	3年生に歓迎の言葉を言ってもらうなど、節目を感じる行事になった。
20					新入会生歓迎会	今年度初めて、新1年生のために上級生たちが、遊びの発表やお笑いを披露してくれ、とても盛り上がった。また、ステージ発表した子たちの達成感も感じることができた。限られた時間の中で内容を細かく組んでいくことが大変だった。ステージ発表も同じ児童が何度も発表していたので、みんなが無理なく発表できる仕組み作りが必要だと感じた。

	A	B	C	D	
21	子ども育成機能	社会性の養成	お誕生日会	今年度も班ごとに司会・みんな遊びを進行してもらおう。プレゼントを渡すだけでなく、誕生月の子にインタビューをし、「行事」として子どもたちが楽しめるようにしている。誕生月の子に「誕生日の日と年齢」及び「これから頑張りたいこと」などみんなの前で話してもらおうことで今後の抱負や自分自身の誕生を確認する機会にもなっている。人前に出ることが苦手な子も頑張っている姿もあり、良い経験となっている。回数を重ねるごとにみんなで盛り上げようという意識が出てきた。クラスごとに実施。	
22			松小代休日おでかけ「子どもの楽園」	近くの施設を利用し、普段できない遊びを体験できた。公共の遊び場でのルールを学ぶことができた。	
23			クラス行事	クラスの交流を目的に、月ごとにみんな遊びや児童館行事など、様々な取り組みを行うことができた。	
24			エコバスツアー	館外活動による生活体験の拡大及び仲間関係の構築、環境に関わることを施設見学を通して体験できた。	
25			館外活動(地域探検)	地域を知る良い機会となった。(松ヶ崎大黒天見学)	
26			自立の促進と自主性の尊重		
27					
28	子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	個人懇談会	新規入会者と希望世帯を対象にしたことで、各児童の様子を保護者と共有することができ、保護者とともに子どもを支援する体制作りにつながった。	
29			さくらdaysの活用	メッセージ機能を使用した出欠連絡、児童の入退室通知、利用一括申請、データでのおたよりやアンケート配信などをアプリを活用し行った。	
30			出欠確認・子どもたちの行動状況の把握	うえぶさくらで出欠を確認し、連絡なしに欠席した児童の保護者に確認をとる。登館時間などが、保護者からの課外申請と異なる児童に対して事情を聞き保護者に連絡確認することで、児童の行動や安全を把握することができた。	
31			おたより	毎月、学童だより(次の月の行事予定等)と学童通信(当月の子ども達の様子)をうえぶさくらで公開しているが見ている保護者と見ていない保護者がいるので、保護者懇談会や入会説明時に目を通していただけるように伝える。	
32		子育ての仲間づくり	入会説明会	学童クラブについて、直接保護者の顔を見ながら説明し、理解してもらうことができた。また、入会前に保護者同士、保護者と職員が顔を合わす良い機会となった。	
33			ランチDAY	長期休業中に取り組むことで、毎日の生活に変化を持たすことができ、子どもたちの仲間意識の構築にもつながった。また、保護者からはお弁当づくりの負担軽減になり、助かっているとの声が多数あり、好評である為、実施回数については検討する必要がある。	
34			新入会生事前面談	内定後から入会説明会までの期間に、事前面談を行い、子どもの様子などを共有することができた。	
35					
36		子育てを支えるネットワーク形成	幼稚園・こども園・総合支援校との連携	ネットワーク形成にまでは至っていないが、新規登録児童の受け入れにあたって、保護者の相談を受け事前にこども園に訪問した。保育にあたって参考になったので、今後も他の施設とも連携をすすめていきたい。	
37					
38					
39					
40					
41					

令和7(2025)年度学童クラブ事業年間活動報告書

松ヶ崎児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人			
子ども育成機能															
3年生会議	12			85										85	毎月の目標、クラス行事、お誕生日会の内容等を話し合い実施。
入会式	1	21	13	9	8	6							25	82	3年生が歓迎の言葉を伝える。節目を感じる行事になった。
新入会生歓迎会	1	17	14	9	8	5								53	新1年生のために上級生たちが、遊びの発表やお笑いを披露、とても盛り上がった。
お誕生日会	12	164	130	80	53	37								464	誕生日の月の子がインタビューをうけ、全員の前で発表。子どもからメッセージカードと、プレゼントを渡す。クラスごとに実施。
松小代休日おでかけ「子どもの楽園」	1	7	9	6	5	3								30	近くの施設を利用し、普段できない遊びを体験できた。公共の遊び場でのルールを学ぶことができた。
クラス行事	7	45	40	29	13	8								135	クラスの交流を目的に、3年生会議で遊びを考え実施。
エコバスツアー	1	15	11	12	6	4								48	館外活動による生活体験の拡大及び仲間関係の構築、環境に関わることを施設見学を通して体験できた。
館外活動	1	14	12	8	6	3								43	地域の神社を知り、参拝のマナーを体験するよい機会とする。
子育て支援機能															
個人懇談会	22	4											54	58	年に2回(春・冬)、2週間程度懇談期間を設定し、新入会と希望世帯対象に20分程度行う。
保護者懇談会	1												26	26	職員と保護者、保護者同士が顔を合わせ、子どもたちの様子を共有する機会となった。
入会説明会	1												17	17	新年度入会の保護者を対象に、学童クラブ及び児童館についての説明や集団下館のルートの確認等を行う。40分程度。欠席者には別の日に来てもらい、必ず全保護者に説明を行う。
ランチDAY	3	42	29	28	17	16								132	長期休業中に実施。昼食を職員が注文し、みんなで同じメニューを食べて楽しむ。

\*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること  
 \*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること